

上島町

村上 貢氏 (弓削商船高等専門学校名誉教授)
瑞宝小綬章 受章

この度、生名地区の村上貢氏は、多年にわたり教育・研究の振興に尽力された功績が認められ、平成18年春の叙勲において「瑞宝小綬章」を受章されました。

村上氏は、昭和25年に京都大学を卒業後、岐阜県内の高等学校教諭を経て、国の要請を受けて昭和42年から平成2年まで弓削商船高等専門学校に勤められ、同年、同校の名誉教授の称号を授与されました。その後も岡山商科大学の教授も勤められ、同大学の名誉教授の称号をも授与されました。

一方、生名村時代から上島町となった現在まで、文化財専門委員会委員を務められ、「生名村誌」の編纂にも御尽力されました。また、平成17年からは上島町歴史・文化のまち推進協議会会長も務められ、地域社会の発展に大きく御貢献をされています。

最近では、麻生イトの生誕百三十年記念事業にも携わり、記念誌「女傑一代—麻生イトの生涯」を中心となって編集されました。

この度の御栄誉を心からお慶び申し上げますとともに、今後とも豊かな故郷づくりになお一層の御指導と御尽力を賜りますようお願い申し上げます。



弓削商船高等専門学校 田房友典助教授
第13回源内賞で源内奨励賞受賞

3月25日、香川県さぬき市において、多彩な才能を発揮した平賀源内の偉業をたたえ、優れた研究者らを表彰する第13回源内賞の授賞式が開かれ、弓削商船高等専門学校の田房友典助教授が源内奨励賞を受賞されました。

田房助教授は、遠隔地から撮影するだけでも三次元計測が可能な「広い計測範囲を持つリアルタイム処理による三次元計測法」をテーマに研究を重ね、開発分野に貢献したと評価されました。

この度の受賞を心からお慶び申し上げますとともに、今後ますますのご活躍をお祈りいたします。



決意も新たに！ 上島町連合婦人会設立総会

4月8日、せとうち交流館において、各地区婦人会の会員が集まり、平成18年度上島町連合婦人会総会が開催されました。

まず、会長に就任した笹井恵美子氏が「少子高齢化の時代に、婦人会として何が出来るのかを考え、こんな時こそ地域の力になっていきたいと思う。婦人会の信条を合言葉に、皆で手を取り合って頑張りましょう。」と挨拶を述べました。その後、事業計画・予算・会則などの審議を行い、決意も新たに上島町連合婦人会が誕生しました。



えひめ婦人の歌を斉唱する
会員の皆さん



挨拶する笹井会長



役員の皆さん 写真左から
清水則子氏（魚島事務局）、村上優美子氏（生名：副会長）、笹井恵美子氏（弓削：会長）、福井千恵子氏（岩城：副会長）、加登まゆみ氏（佐島：会計）

心温まる島人の「お接待の心」 島々で島四国



4月18日 佐島四国

4月16日 弓削島四国



佐島



弓削島



弓削島



弓削島



佐島



佐島



佐島

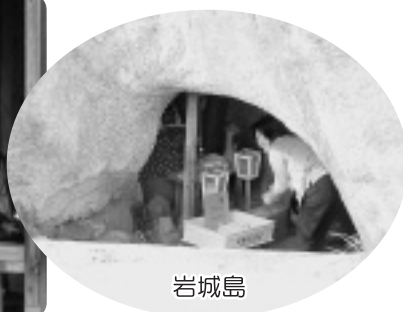


弓削島

4月18日 岩城島四国



岩城島



岩城島



岩城島



岩城島

「自助」自分のことは自分で守る 「共助」自分たちの町は自分たちで守る つくろう自主防災のしくみ！ 「上島町防災意識啓発講演会」

4月23日、せとうち交流館において、「上島町防災意識啓発講演会」が開催されました。当日は各地域の区長、地区委員、消防団員、民生委員など地域防災のリーダーとなる方々260名が参加し、左官正雄・愛媛県危機管理監と淀三男・松山地方気象台次長の講演に熱心に耳を傾けました。

左官危機管理監は、「住民一人ひとりに必要な防災の心構えとは」と題し、大規模地震が発生した場合、初期消火や生き埋め者の救出には迅速な対応が必要であり、そのためには自主防災組織のしくみづくりが不可欠であることを強調されました。

また、淀三男次長は、「東南海・南海地震について」と題し、地震発生のおそれや津波被害の恐ろしさなどを話されました。講演の中で「災害はいつ襲ってくるかわかりません。やろうと思ったことは、即実行することが、家庭における防災対策のコツです。」というお話が大変印象的でした。

今回の講演会のテーマである「災害に強いまちづくり」の実現のためには、住民の皆さんと行政が一体となって防災対策に取り組んで行かなければなりません。それには、住民の皆さん一人ひとりが「自分のことは自分で守る（自助）・自分たちの町は自分たちで守る（共助）」という心構えを持ち、それを実践していくことが求められています。



多くの参加者があった会場



左官危機管理監による講演



熱心に講演に聞き入る消防団員

愛媛県・今治市・上島町の地域再生計画 「しまなみにぎわい創出計画」認定

4月18日、首相官邸において、地域再生計画の認定書授与式が行われ、愛媛県・今治市・上島町の連名で申請していた「しまなみにぎわい創出計画」の認定書を、上村町長が受け取りました。

当日は、小泉純一郎内閣総理大臣が出席され、全国から集まった市町村長に認定書が手渡されました。

「しまなみにぎわい創出計画」は、今治市と上島町の港の連携による地域間交流を促進し、しまなみ地域のにぎわいを取り戻し、一体的な発展を図っていく計画で、上島町においては、生名立石港・岩城漁港の整備を行います。



しまづくりキャラバン 2006 in 大阪 上島町をPRしてきました！

5月2日から5月5日までの4日間にわたり、大阪南港にあるインテックス大阪において「しまづくりキャラバン」が開催され、上島町も参加しました。

「しまづくりキャラバン」とは、島と都市との交流、島の魅力の情報発信、島の特産品のPR等を目的として平成16年から行われているイベントです。

今回は各種イベントと同時開催され約6万人の来場者がありました。上島町もIターン農家の古川さんと町職員とでレモン、海苔等の特産品販売をとおして大阪の方々に島のPRとIターン情報の提供、都市に住む人のニーズ調査をしてきました。また、ミニステージ出演においては島のPRビデオによる紹介と“餅まき”ならぬ“レモンまき”を行ったところ、人だかりができて大好評でした。また、特産品販売は売れ行きもよく、同時に島に対するアンケートも大勢の方に参加していただきました。関西在住の上島町出身者も多数、駆けつけていただき、勇気づけられましたことを大変感謝いたします。また、来年も参加しますのでご来場をお待ちしております。



レモンまきは大盛況！

熱戦につぐ熱戦!! 第2回上島町中学校親善体育大会

5月13日、第2回となる上島町中学校親善体育大会が開催されました。当日はあいにくの雨模様となり、野球・サッカー・テニスの屋外種目はやむなく中止となりましたが、バスケットボール・バレーボール・卓球の室内競技が行われ、町内外からの参加校による熱戦が繰り広げられました。上島町の中学校も、日頃の練習の成果を十分に発揮し、最後まであきらめない気持ちで懸命にボールを追っていました。



選手宣誓
大道理恵さん(弓削中)



ゴールを目指す
弓削中バスケット部



卓球(岩城中)



選手宣誓
金井健太郎さん(岩城中)



バスケットボール



試合前に気合を入れる岩城中バレー部



バレーボール

上島の文化の交流を目指して! 上島町文化協会設立総会

5月14日、せとうち交流館において、各地区文化協会理事及び来賓の方々約60名が集まり、上島町文化協会設立総会が開催されました。

まず、上島町文化協会設立準備委員会の小澤宏次委員長が挨拶を行い、「各地区独自の文化を大切にしながら、文化の交流を深めていきたいと思います。」と述べました。続いて上村町長及び田窪町議会議長が来賓を代表して、「各団体・各地区の個性を伸ばしつつ、交流による上島町の新たな文化の創造・文化の継承をしていただくことを願っています。」などの祝辞を述べました。その後、議事に移り、会則、役員の選任、平成18年度事業計画・予算などの審議を行いました。

総会終了後には、文化協会らしくマンドリン部によるアトラクションが催され、上島町文化協会の設立を華々しく彩りました。最後に万歳三唱が行われ、本格的な4地区の文化交流の幕開けとなりました。



マンドリン部の演奏



小澤会長挨拶



総会の模様



出席した各地区代表の皆さん



写真左から 幸本伯副会長(岩城)、島本泰明副会長(生名)、小澤宏次会長(弓削)※佐伯眞登副会長(魚島)は都合により欠席されました。

士気を鼓舞して地域活動へ

桜花爛漫の4月11日、魚島老人クラブの総会が花見を兼ねて催されました。

あいにくの雨模様のため、会場を一枝の桜を飾った室内へ移し、会員35人が集い、意気込みも新たに向こう一年間の活動計画を話し合いました。

その後、みんなで花見弁当を囲みながら、歌や踊りで盛り上がり、結束を固めました。



魚島地区

任せてちょうだい!!初期消火

魚島地区の地域防災体制の確立に向けて、魚島支所の女性職員が立ち上がりました。

消火栓を使った初期消火訓練に全員で臨み、『放水はじめ』までこぎつけたその表情には、使命感とやる気をのぞかせていました。



生名地区

美味しいクッキーができました！ 生名保育所食育事業「ぱくぱく・きっず」

4月26日、生名保育所において、年長・年中児22名を対象にした、今年度第1回目の「ぱくぱく・きっず」（食育教室）が生名保健センターの主催で開催されました。

この日作ったのは、ビニール袋で簡単にできる「もみもみクッキー」。子ども達は、手伝おうとする大人の手をふりはらい、思い思いの形のクッキーを真剣に作っていました。

その後、園庭に出て、プチトマト・きゅうり・ピーマンの苗を一人ひとり植えました。夏には収穫して、みんなで味わう予定です。



立石観音例大祭

4月16日、生名島の三秀園において、毎年恒例の立石観音例大祭が催されました。

今年は大正～昭和にかけて尾道市因島の造船下請けを仕切った女性実業家、麻生イト（1876～1956年）の生誕130年ということで、因島の世話人会役員も参列し、植樹などを行いました。

イベントとして水軍姫太鼓が披露され、焼肉や焼きそば等のバザーもあり例年以上の盛り上がりでした。三秀園は麻生イトが晩年に造園した庭園で、観音信仰の霊場になっています。



岩城小中学校交通安全教室

4月24日、岩城小学校と岩城中学校のそれぞれのグラウンドで交通安全教室が行われました。

伯方警察署員や岩城駐在署、交通安全指導員の指導のもと、小学校は低学年が横断歩道の渡り方を、中・高学年は自転車の運転の練習をしました。また、車の急停車の実演では、急ブレーキをかけても車はすぐに止まらないということを学びました。

中学校では自転車の運転とともに、車の後部は死角が多いということを教わり、小中学生ともに、真剣な表情で取り組んでいました。

岩城中学校



岩城小学校



岩城地区

お花見しましょっ！

4月6日、岩城北集会所周辺において、さくらんぼ教室のお花見が開催されました。桜の花も満開で天候にも恵まれたポカポカ陽気の中、子供たちは遊具で遊んだり、空を見上げて飛行機を見つけたり、お昼にはお弁当をみんなで食べて、楽しい時間を過ごすことができました。

滑り台を楽しむ子どもたち



▼お弁当を食べる親子



弓削地区

こどもの日は大賑わい！ 東泉寺「薬師祭(おやくっさん)」

5月5日のこどもの日、弓削久司浦地区の東泉寺において、本尊薬師如来の祭日と花祭りの法要を盛大に行う「薬師祭(おやくっさん)」が行われました。

当日は晴天に恵まれ、ゴールデンウィークということもあり、町内外から多くの参詣者が訪れました。

お寺では、甘茶やへぎ飯の接待が行われ、境内へ続く参道には、たこ焼きや綿菓子などの露店が並び大盛況でした。

甘茶をいただく参詣者

▼境内には多くの参詣者



多くの露店で賑わう参道

さごろも 古典文学講座 『「狭衣物語」を読む会』開講

4月18日から、平成18年度弓削公民館古典文学講座「狭衣物語」を読む会が開講しました。

今年度は17名の参加者が集まりました。本講座は講座名にもあるように、狭衣物語の全容を詳しく読み解いていくもので、1回約2時間の講座が12回実施されます。

